

## 崩壊熱評価ワーキンググループ議事録

- 開催日時： 平成1年12月8日 13:30 ~ 17:00 (原研東海研究所)  
出席者： 中嶋(法大), 瑞慶覧(日立), 飯島, 吉田(東芝), 田坂, 片倉(原研)  
配布資料： a. 崩壊熱評価ワーキンググループ前回議事録 (H1/10/18)  
b. FP News Lettwer 原稿(吉田委員)  
c. 米国の崩壊熱研究の現状(片倉委員)  
d. 感度計算プログラム使用マニュアルと計算例(飯島委員)

議事：

### I. 報告事項

- (1) 資料b.に基づき, IAEAの発行する今年度版のFP News Lettwer に, 当ワーキンググループの活動についての原稿を送付した旨, 報告があった。
- (2) 米国LANLのDr. T. R. Englandの所で一年間仕事をしてきた片倉委員より, 資料c.に基づき報告があった。 ENDF/B-VIの進捗状況, ANS5.1の現状, 西独のKlapdor のエネルギー値を用いた計算結果などが紹介された。
- (3) 飯島委員より, 核データ国際協力の構想について報告があり, 当ワーキンググループも前向きに取り組むべきとの意見が出された。

### II. 討議事項：

- (1) 総合報告について
  - ・原稿は正月あけまでに作成し, 1月中投稿を目指す。
  - ・FP断面積の最終版は遅れそうなので, 今のを取敢えず入れておき, 若し数値に変更があったら, あとで差替える。
- (2) 原子力学会の崩壊熱基準委員会について
  - ・報告書supplementに添附するパソコンコードに就いて議論があり, 詳細は崩壊熱基準委員会の幹事会で決める事とした。
  - ・資料d.に基づき, 飯島委員より感度計算プログラムと計算例の紹介があり, この結果を今後どう利用していくかが議論された。当面崩壊熱基準委員会報告書supplementに反映させるべく作業を継続することとなった。